

平成24年〇月〇日

市町村母子保健担当者 様

厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）

東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究班

研究代表者 東北大学医学部小児科教授 呉 繁夫

福島県担当研究責任者 福島県立医科大学小児科教授 細矢 光亮

「被災地の子どもの発育状況等に関する調査」へのご協力をお願い

盛夏の候、皆様方におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日本全国に大きな悲しみと被害をもたらした東日本大震災から1年以上が経過し、運動不足やストレスなどの子どもの発育への影響が指摘されています。

そのため、当研究班では、ご協力頂ける市町村の震災前後の乳幼児健診等の情報を収集し、被災地の子どもたちの発育の変化の有無等を調べることになりました。子どもたちの発育状況等を把握し、対照地域や全国の保育所のデータと比較することで、今後の対応の提言など被災地の小児保健の向上に寄与することができると考えております。

協力頂いた市町村には、全国との比較等を行った報告書をお返しさせていただきます。調査に協力されない場合でも不利益になるようなことはございませんが、調査の趣旨をご理解頂き、今後の小児保健の向上のため、是非積極的にご協力いただきますようお願いいたします。

平成24～26年度にかけて行う調査で、平成24年度は、下記の通り震災前のデータの収集を予定しております。

調査への協力の可否等について、9月21日(金)までに回答をお願いいたします。

## 記

### 【研究課題名】

被災地の子どもの発育状況等に関する調査

### 【平成24年度の調査対象】

平成19年3月1日～平成19年8月31日生まれの子どもの乳幼児健診等の情報

※個人を特定するような情報は集めません。

### 【調査方法】

- ① 福島県立医科大学から業務委託された者が市町村保健センターへ赴き、健診表から調査項目を転記する
- ② 市町村で、調査項目を調査表に転記又はデータ入力し、研究班に送付
- ③ 市町村で、健診表の黒塗りコピーを作成し、研究班に送付する。

### 【調査項目】

<出生時>

出生日、出生時体重、出生時身長、出生時頭囲、性、在胎週数（例 37週4日）

<乳幼児期健診①：3・4か月>

健診日、体重、身長、頭囲、栄養（母乳・混合・ミルク）、ワクチン接種歴

<乳幼児期健診②：6・7か月もしくは9・10か月>

健診日、体重、身長、頭囲、栄養（母乳・混合・ミルク）、ワクチン接種歴

<1歳6か月児健診>

健診日、体重、身長、ワクチン接種歴

<3歳児もしくは3歳6か月児健診>

健診日、体重、身長、ワクチン接種歴

ご協力頂ける市町村には、追って調査に関する詳細をご連絡させていただきます。  
なお、貴施設で使用している無記載の調査表（健診表）を一ついただくと幸いです。

公立大学法人福島県立医科大学医学部小児科学講座 小野敦史  
〒960-1295 福島県福島市光が丘1  
TEL：024-547-1295 FAX：024-548-6578  
E.mail：a-ono@fmu.ac.jp

## 疫学研究に関する情報公開

## 【研究の意義・目的】

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、その規模、死者・行方不明者の数など、あらゆる観点からみても、近代日本が経験したことがない激甚災害でした。約1年が経過した現在、震災が及ぼした小児保健医療への影響を振り返って考えみると、震災直後の医療体制、その後の診療の立て直し、震災孤児・遺児への対応、被災地の子どもたちの小児科診療のありかた、被災した子どもたちの短期的長期的なこころの問題、原子力発電所事故による放射線汚染の子どもたちへの影響、などの課題が浮き彫りになりました。今後の我が国の災害時小児保健医療を考えるためには、被災地における子どもたちの健康状態を、時間軸を付けて詳細に調査・分析する必要があります。本研究は、東日本大震災により甚大な被害を受けた東北3県の小児医療中核施設である東北大学小児科(宮城県)、岩手医科大学小児科(岩手県)、福島県立医科大学小児科(福島県)が一致協力し、被災地のこどもの発育・成長を当該市町村の乳幼児検査票などを基に調査・分析するものです。これらの調査を総合的に分析・解析し、被災地の小児保健の向上を図ると共に、今後の災害時の小児保健に生かしていく事を目的としています。

## 【研究の方法】

被災3県及び対照県の1) 乳幼児健診実施施設、2) 幼稚園・保育園、3) 小学校・中学校のうち協力可能な施設に調査を依頼します。

1) 乳幼児健診調査票のデータ、2) 保育園や幼稚園に保管されている身体測定データ、3) 小学校や中学校における定期健診のデータ、を用いて震災前後での比較を行います。

## 1) 乳幼児健診：

<出生時>

出生日、出生時体重、出生時身長、出生時頭囲、性、在胎週数(例 37週4日)

<乳幼児期健診①：3・4か月>

健診日、体重、身長、頭囲、栄養(母乳・混合・ミルク)、ワクチン接種歴

<乳幼児期健診②：6・7か月もしくは9・10か月>

健診日、体重、身長、頭囲、栄養(母乳・混合・ミルク)、ワクチン接種歴

<1歳6か月児健診>

健診日、体重、身長、ワクチン接種歴

<3歳児もしくは3歳6か月児健診>

健診日、体重、身長、ワクチン接種歴

## 2) 保育園・幼稚園：

身長や体重など

## 3) 小学校・中学校：

身長や体重など

なお、今回ご協力いただく調査は上記1)に当たります。

## 【研究組織、研究機関名】

研究責任者（主任研究者）	小児科学講座	教授	細矢光亮
研究分担者	同上	助手	小野敦史
	同上	准教授	川崎幸彦
	同上	講師	陶山和秀
	同上	助手	大原信一郎

他施設における研究者：

東北大学医学部小児科		教授	呉繁夫
東北大学医学系研究科分子疫学分野		教授	栗山進一
東北メディカルメガバンク機構		准教授	菊谷昌浩
東北メディカルメガバンク機構		助手	石黒真美
岩手医科大学		教授	千田勝一
山梨大学大学院医学工学総合研究部	社会医学	教授	山縣然太郎

## 【他の機関等への試料等の提供について】

県内のデータは匿名化して当科で収集します。

元の施設から個人情報を持ち出さず、収集したデータ（資料）は電子データ化した後に廃棄します。

電子化したデータはまとめて東北大学へ送付します。

電子データは連結不可能匿名化し、「東北大学小児病態学分野および分子疫学分野」に保存します。（管理責任者：東北大学小児科学講座 教授 呉繁夫）

## 【研究者が保有する個人情報について】

研究者が保有する個人情報に関し、被験者ご本人又は代理人の方が開示、訂正、利用停止及び第三者への提供の停止等の請求を行う場合、「福島県個人情報保護条例」に基づく手続きが必要となります。なお、開示等を行う場合、請求者には文書等の交付に係る費用（コピー代等）をご負担いただきます。

## 【本研究に関する問合せ先】

○研究内容に関する問合せの窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部小児科学講座 担当 小野敦史

電話:024-547-1295 FAX: 024-548-6578

E-mail:a-ono@fmu.ac.jp

○個人情報に関する窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学 総務課 大学管理係

電話:024-547-1007 FAX :024-547-1995

○その他ご意見の窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学 研究推進課 研究支援担当

電話:024-547-1825 FAX: 024-547-1991

E-mail:rs@fmu.ac.jp

送付先：福島県立医科大学小児科 行

FAX 番号：024-548-6578

FAX

電話番号：024-547-1295

送付枚数：1枚（本票含めて）

連絡事項：被災地の子どもの発育状況等に関する調査研究に関して、  
以下の通り回答します。

協力の可否	<input type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 否
市町村名		
■以下の項目は、協力可の場合のみご回答下さい。		
〒 担当部署名称、住所 及び電話番号： 電話： — —		
担当者お名前		
担当者メールアドレス		
調査対象のおおよその数 (おおよその概算)	約 人	
希望する調査方法 (①～③のうち選択)	① 福島県立医科大学から業務委託された者が市町村保健センターへ赴き、調査項目を転記 ② 市町村で、データ入力されたものを研究班に送付 ③ 市町村で健診票の黒塗りコピーを作成し、研究班に送付	
以下の項目の貴施設での記録状況を教えてください。(データ入力の有無を含む)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出生時の情報(生年月日、在胎週数、性別、出生時身長・体重)： 有り 無し(データ入力 有り 無し)</li> <li>・ 乳幼児健診の情報(健診日、身長、体重、頭囲)：有り 無し(データ入力 有り 無し)</li> <li>・ 栄養に関する情報(日にち、母乳、混合、人工乳)：有り 無し(データ入力 有り 無し)</li> <li>・ 多胎の有無：有り 無し(データ入力 有り 無し)</li> <li>・ 家族の喫煙状況：有り 無し(データ入力 有り 無し)</li> <li>・ 公費負担による予防接種の種類及び接種日：有り 無し(データ入力 有り 無し)</li> <li>・ 被災による転入転出の有無：有り 無し(データ入力 有り 無し)</li> <li>・ 家族又は本人の被災の有無：有り 無し(データ入力 有り 無し)</li> </ul>		

平成 24 年〇月〇日

様

公立大学法人 福島県立医科大学



理事長 菊地 臣一

「被災地の子どもの発育状況に関する調査」の開始について（依頼）

東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究班（福島県担当研究責任者 福島県立医科大学小児科教授 細矢光亮）による調査を開始することになりました。

つきましては、下記の方法で調査を行いますので、ご協力をお願いいたします。

1 調査期間 平成 24 年 12 月 1 日～平成 25 年 1 月 31 日

2 調査方法 調査のためのデータ収集については、業者へ委託して実施いたします。  
委託業者は「株式会社 トーネット」であり、派遣社員が福島市保健福祉センター内で、健診票から別紙のとおり、体重・身長・予防接種の有無等のデータを転記します。  
「株式会社 トーネット」から日程調整の連絡をいたしますので、ご協力をお願いいたします。

3 「株式会社 トーネット」連絡先について

〒 960-8164

住所 福島県福島市八木田字中島 36-1 トーネットビル

電話番号 024-539-9771 (代)

FAX番号 024-546-5791 (代)

Eメールアドレス t.tashiro@tonet-f.co.jp

代表者名 佐藤美喜雄

派遣される社員名 田代智行 (代表)、笹村理絵 (副)、他数名

4 個人情報の取り扱いについて

公立大学法人 福島県立医科大学 理事長 菊地臣一（以下「甲」という）と株式会社トーネット 代表取締役 佐藤美喜雄（以下「乙」という）とは、平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金の交付を受けて調査研究を実施する成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業「東日本大震災被災地の子どもの発育状況等に関する調査」に関わる業務の受委託につき契約を締結しています。

この契約の中で、「乙は、本業務の内容、進捗及び成果に関して、甲との事前の協議なくして第三者に漏らしてはならない」「乙は、この契約による業務を行うため個人情報を取り扱うにあたっては、別記「個人情報取り扱い特記事項」を守らなければならない」と定め情報の管理を行います。

なお、事故発生の場合の対処につきましては、福島県立医科大学医学部で責任をもって対処いたします。また、収集した情報は、標記事業以外には使用いたしません。

5 その他

ご不明な点があれば、下記まで電話もしくはメールをお願いします。

公立大学法人 福島県立医科大学医学部小児科学講座 小野敦史

〒 960-1295 福島県福島市光が丘 1

電話番号 024-547-1295

FAX 024-548-6578

E mail a-ono@fmu.ac.jp

平成24年12月3日

市町村母子保健担当者 様

厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）  
東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究班  
研究代表者 東北大学医学部小児科教授 呉 繁夫  
福島県担当研究責任者 福島県立医科大学小児科教授 細矢 光亮

「被災地の子どもの発育状況等に関する調査」の開始について

朝夕の寒気が身にしみる頃、皆様方にはますますご清栄の事とお慶び申し上げます。

この度、12月から上記調査を本格開始することになりました。  
以前にFAXで希望をとった調査方法に従って行っています。

つきましては、平成24年12月1日～平成25年1月31日の期間内で、  
外部の委託業者「株式会社 トーネット」に依頼し、データ収集させていただきます。  
訪問前に業者から、訪問する日時の確認の電話をいたします。  
各施設・担当者様の都合と合わせてご返答お願いします。  
お忙しいとは存じますが、業者が訪ねた際にはご協力をお願い申し上げます。

なお、以前にもお願いしていたことですが、貴施設で使用している無記載の調査票  
(健診票)を1つ業者の方にお渡し頂けると幸いです。

ご不明な点があれば、下記まで電話もしくはメールをお願いします。  
宜しく申し上げます。

公立大学法人福島県立医科大学医学部小児科学講座 小野敦史  
〒960-1295 福島県福島市光が丘1  
TEL : 024-547-1295 FAX : 024-548-6578  
E.mail : a-ono@fmu.ac.jp

平成24年12月19日

市町村母子保健担当者 様

厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）  
東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究班  
研究代表者 東北大学医学部小児科教授 呉 繁夫  
福島県担当研究責任者 福島県立医科大学小児科教授 細矢 光亮

「被災地の子どもの発育状況等に関する調査」の開始について

朝夕の寒気が身にしみる頃、皆様方にはますますご清栄の事とお慶び申し上げます。

この度、12月から上記調査を本格開始することになりました。  
以前にFAXで希望をとった調査方法に従って行っていきます。

つきましては、添付ファイル「調査項目の調査表」にデータ入力をお願いします。

※ 身長単位は全てcmとし、少数第1位まで記載をお願いします。

※ 1歳6か月健診と3歳・3歳6か月健診では、体重単位をkgとし、  
少数第1位まで記載をお願いします。

また、「ワクチン集計表」への記載も一緒をお願いします。

※ 手書き記載です。

データの送付に関しましては、下記アドレスにメールで送信していただくでも、  
CDやUSBなどの媒体に保存して郵送していただくでも結構です。  
(お手数ですが、「ワクチン集計表」は郵送をお願いします。)

お忙しいとは思いますが、平成24年12月1日～平成25年1月31日を期限として、  
宜しくお願いします。

なお、以前にもお願いしていたことですが、貴施設で使用している無記載の調査票  
(健診票)も1つ郵送していただけたら幸いです。

かかった経費に関しては、調査終了後に調査人数を加味して概算でお支払します。

ご不明な点があれば、下記まで電話もしくはメールをお願いします。  
宜しくお願い申し上げます。

公立大学法人福島県立医科大学医学部小児科学講座 小野敦史  
〒960-1295 福島県福島市光が丘1  
TEL : 024-547-1295 FAX : 024-548-6578  
E.mail : a-ono@fmu.ac.jp



市町村母子保健担当者 様

厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）  
東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究班  
研究代表者 東北大学医学部小児科教授 呉 繁夫  
福島県担当研究責任者 福島県立医科大学小児科教授 細矢 光亮

「被災地の子どもの発育状況等に関する調査」の開始について

朝夕の寒気が身にしみる頃、皆様方にはますますご清栄の事とお慶び申し上げます。

この度、12月から上記調査を本格開始することになりました。  
以前にFAXで希望をとった調査方法に従って行っています。

つきましては、下記項目が記載された調査票（健診票）のコピーを郵送お願いします。

●出生時

出生日、出生時体重、出生時身長、出生時頭囲、性、在胎週数

●乳幼児期健診①：3・4か月

健診日、体重、身長、頭囲、栄養（母乳・混合・ミルク）、ワクチン接種歴

●乳幼児期健診②：6・7か月もしくは9・10か月

健診日、体重、身長、頭囲、栄養（母乳・混合・ミルク）、ワクチン接種歴

●1歳6か月児健診

健診日、体重、身長、ワクチン接種歴

●3歳児もしくは3歳6か月児健診

健診日、体重、身長、ワクチン接種歴

お忙しいとは思いますが、平成24年12月1日～平成25年1月31日を期限として、  
宜しくお願いします。

なお、以前にもお願いしていたことですが、貴施設で使用している無記載の調査票  
（健診票）を1つ郵送していただけたら幸いです。

かかった経費に関しては、調査終了後に調査人数を加味して概算でお支払します。

ご不明な点があれば、下記まで電話もしくはメールをお願いします。  
宜しくお願いします

公立大学法人福島県立医科大学医学部小児科学講座 小野敦史  
〒960-1295 福島県福島市光が丘1  
TEL：024-547-1295 FAX：024-548-6578  
E.mail：a-ono@fmu.ac.jp

平成 24 年 10 月

保育所長 殿

厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）  
東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究  
研究代表者 東北大学医学部小児科教授 呉 繁夫

## 子どもの発育状況に関する全国調査へのご協力をお願い

晩秋の候、皆様方におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
この度は、調査にご協力いただきましてありがとうございます。日本全国に大きな悲しみと被害をもたらした東日本大震災後1年以上が経過し、運動不足やストレスなどの子どもの発育への影響が指摘されています。当研究班では、全国のご協力頂ける保育所の子どもたちの震災前後の身体測定等の情報を収集し、被災地及び全国の子どもたちの発育の変化の有無を調べます。全国の子どもたちの発育状況を把握することで、今後の対応の提言など小児保健の向上に寄与することができると考えております。調査結果については、皆様にご活用いただけるよう、公表、報告等させていただきます。調査方法の詳細につきましては、裏面に記載しておりますのでご参照ください。何かご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

[問い合わせ先]

東北大学医学部小児科

〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町1-1

Tel 022-717-7289 Fax 022-717-7285

HP <http://www.ped.med.tohoku.ac.jp/311childhealth/>

## 調査内容

### [調査対象]

保育所の被災の状況ならびに平成16年度及び平成18年度生まれの子どもたちの身体測定結果等の情報（※個人を特定するような情報は集めません。）

※平成16年度生まれは、平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれ（平成22年度5歳児クラス）  
平成18年度生まれは、平成18年4月2日～平成19年4月1日生まれ（平成24年度5歳児クラス）

### [調査期間]

平成24年10月15日（月）～11月30日（金）

### [調査項目]

対象者の保育所での身長・体重の測定結果（年2回）、性別、生まれた年、生まれた月、医師に診断された疾患（腎臓病、心臓病、アトピー性皮膚炎、喘息、その他）の有無、転入・転出記録、保育所の被災状況等

### [調査方法]

同封の調査票Aおよび調査票B1および調査票B2に記入の上、11月30日（金）までに返信用封筒で返送をお願いいたします。

- ◆調査票A（保育所の状況）：保育所の被災の有無等、各保育所で1枚
- ◆調査票B1（平成16年度生まれの子ども）：身長・体重など、子ども1人につき1枚
- ◆調査票B2（平成18年度生まれの子ども）：身長・体重など、子ども1人につき1枚

### [注意事項]

- 古いデータがない場合には、有るデータのみで結構です。
- この調査では、個人を特定するような情報は集めませんので、保育所で保護者の同意の取得や周知を行っていただく必要はありません。
- もし、保育所の方で周知を希望される場合には、ポスターをご活用ください。
- 調査の詳細につきましては、ホームページもご覧ください。

# 「子どもの発育状況に関する全国調査」に協力しています (平成24年度厚生労働科学研究)

- 東日本大震災後の運動不足やストレスなどの子どもの発育への影響の有無について調べるために、平成24年度厚生労働科学研究で、全国の保育所の協力を得て子どもたちの震災前後の身体測定などの情報を収集する「子どもの発育状況に関する全国調査」を行っています。
- 全国の子どもたちの震災前後の発育の状況を把握するために、当保育所は研究班に協力して、身体計測結果等の既存の個人を特定しない情報の提供を行います。

## 提供する情報

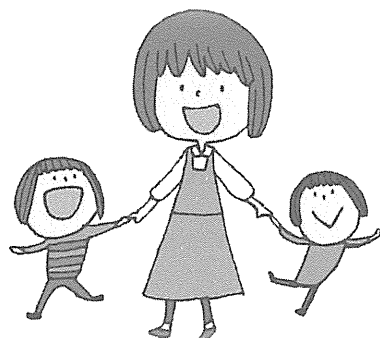
- 平成16年度及び平成18年度生まれのお子様の身体測定結果等の情報

※平成16年度生まれは、平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれ（平成22年度5歳児クラス）  
平成18年度生まれは、平成18年4月2日～平成19年4月1日生まれ（平成24年度5歳児クラス）

- 具体的には、既存の記録の転記により、以下の情報を提供します。

お子様の身体測定（身長・体重）のデータ、お子さまの性別、生まれた年、生まれた月、医師に診断された疾患（腎臓病、心臓病など）の有無、転入・転出の有無、被災の有無

※その他、保育所の被災状況等についても情報提供します。



## <調査の実施主体>

平成24年度厚生労働科学研究

「東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究」

研究代表者：東北大学医学部小児科教授 呉 繁夫

(連絡先) Tel 022-717-7289 Fax 022-717-7285

(HP) <http://www.ped.med.tohoku.ac.jp/311childhealth/>

## 「子どもの発育状況に関する全国調査」

## 調査票用封筒

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、同封されている調査票にご記入の上、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、11月30日（金）までにご投函くださいますようお願いいたします。

同封されている調査票の枚数は、保育所のご担当者様よりFAX等でご連絡いただきました枚数に基づいておりますが、もし調査票の数が足りないようなことがございましたら、大変お手数をおかけしますがコピーをして、ご記入をお願いします。

本調査の対象園児は下記です。事前にご連絡を差し上げた際に、一部の園に対象園児の生年を誤ってご連絡いたしました。下記が正しい対象園児でございます。お詫びいたします。

## ◆平成16年度生まれの子ども

平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれ（平成22年度5歳児クラス）

## ◆平成18年度生まれの子ども

平成18年4月2日～平成19年4月1日生まれ（平成24年度5歳児クラス）

本調査全体につきましては、「子どもの発育状況に関する全国調査へのご協力のお願い」の両面も併せてお読みくださいますようお願いいたします。

## 調査票 A (保育所の状況)

保育所の状況に関して、質問に最もあてはまる答えの番号を○で囲むか、\_\_\_\_\_に数字や文字を書き入れてください。

調査票記入日                      平成 24 年 \_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日

保育所の名前                      \_\_\_\_\_

1. 東日本大震災による保育所の被災の有無                      1. 被災しない      2. 被災した

→被災した場合は、

複数回答可
1. 全壊・半壊      2. 津波      3. 火災      4. 保育所の移転
移転した場合旧所在地〒 _____

2. 震災前後で子どもの発育に影響があると思いますか      1. あり      2. なし

→有りの場合は、何が要因と考えますか

(自由記載)

ご協力ありがとうございました。引き続き、調査票 B1、B2 につきましても、ご記入をお願いします。

## 調査票 B1 (平成 16 年度生まれの子ども)

平成 16 年 4 月 2 日～平成 17 年 4 月 1 日生まれ (平成 22 年度 5 歳児クラス)

子ども 1 人につき 1 枚 園の職員の方にご記入をお願いします

## 平成 16 年度生まれの子ども一人ひとりについて、質問の答えの

番号を○で囲むか、\_\_\_\_\_に数字や文字を書き入れてください。(途中入所、退所児も含まます)

調査票記入日

平成 24 年 \_\_\_\_月\_\_\_\_日

●性別 1. 男 2. 女

●生年月 平成 \_\_\_\_年 \_\_\_\_月 生まれ

●医師に診断された疾患 (H22 年 10 月時点、途中退所児は退所の時点)

1. 不明 2. ない 3. ある

→ 3. の場合、複数回答可

a. 腎臓病 b. 心臓病 c. アトピー性皮膚炎  
d. 喘息 e. その他 (\_\_\_\_\_)

●他の保育所からの転入・転出→ (\_\_\_\_\_県\_\_\_\_\_保育所から平成\_\_\_\_年\_\_\_\_月に転入)

(\_\_\_\_\_県へ平成\_\_\_\_年\_\_\_\_月に転出)

●身長、体重の測定結果

	もし、記録がありましたら、可能な範囲で、 ご記入ください				出来るだけ、ご記入ください			
	H16年 4月	H16年 10月	H17年 4月	H17年 10月	H18年 4月	H18年 10月	H19年 4月	H19年 10月
身長, cm								
体重, kg								

	必ずご記入ください (古いデータがない場合には、有るデータのみで結構です)					
	H20年 4月	H20年 10月	H21年 4月	H21年 10月	H22年 4月	H22年 10月
身長, cm						
体重, kg						

※転出入がある場合でも、分かる部分はできるだけ記載してください。

ご協力ありがとうございました。

## 調査票 B2 (平成 18 年度生まれの子ども)

平成 18 年 4 月 2 日～平成 19 年 4 月 1 日生まれ (平成 24 年度 5 歳児クラス)

子ども 1 人につき 1 枚 園の職員の方にご記入をお願いします

平成 18 年度生まれの子ども一人ひとりについて、質問の答えの番号を○で囲むか、\_\_\_\_\_に数字や文字を書き入れてください。(途中入所、退所児も含みます)

調査票記入日

平成 24 年 \_\_\_\_月\_\_\_\_日

●性別 1. 男 2. 女

●生年月 平成 \_\_\_\_年 \_\_\_\_月 生まれ

●医師に診断された疾患 (H24 年 10 月時点、途中退所児は退所の時点)

1. 不明 2. ない 3. ある

→3.の場合、複数回答可

a. 腎臓病 b. 心臓病 c. アトピー性皮膚炎  
d. 喘息 e. その他 (\_\_\_\_\_)

●他の保育所からの転入・転出→ ( \_\_\_\_\_ 県 \_\_\_\_\_ 保育所から平成 \_\_\_\_年 \_\_\_\_月に転入)

( \_\_\_\_\_ 県へ平成 \_\_\_\_年 \_\_\_\_月に転出)

●被災の状況と体験の有無

1. 被災しない 2. 被災した

→2.の場合、複数回答可

a. 家が全壊・半壊 b. 津波 c. 火災 d. 転居  
e. 避難所生活の経験 f. 家族が亡くなった

●身長、体重の測定結果

	もし、記録がありましたら、可能な範囲で、 ご記入ください				出来るだけ、ご記入ください			
	H18年 4月	H18年 10月	H19年 4月	H19年 10月	H20年 4月	H20年 10月	H21年 4月	H21年 10月
身長, cm								
体重, kg								

	必ずご記入ください					
	H22年 4月	H22年 10月	H23年 4月	H23年 10月	H24年 4月	H24年 10月
身長, cm						
体重, kg						

※転出入がある場合でも、分かる部分ではできるだけ記載してください。  
ご協力ありがとうございました。



平成24年8月27日  
事務連絡

各 都道府県 民生主管部（局） 御中

厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課

「子どもの発育状況に関する全国調査」について（情報提供）

保育行政の推進につきましては、平素より格段のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、平成24年度厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）「東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究」において、被災地内外の保育所に入所している子どもの身長、体重等のデータを収集し、子どもたちの発育の変化の有無を把握し、小児保健の向上を図ることを目的に「子どもの発育状況に関する全国調査」を実施することになりました。

つきましては、全国の保育所に調査への協力をいただけるよう、別添、当該研究班からの調査依頼を市区町村を通じて保育所へ周知及び送付していただくよう依頼していることを情報提供いたします。

[問い合わせ先]

厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課

T E L 03-5253-1111（内）7919

丸 山

平成24年8月27日  
事 務 連 絡

各 市区町村 保育所所管部局 御中

厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課

「子どもの発育状況に関する全国調査」への協力について（依頼）

保育行政の推進につきましては、平素より格段のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、平成24年度厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）「東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究」において、被災地内外の保育所に入所している子どもの身長、体重等のデータを収集し、子どもたちの発育の変化の有無を把握し、小児保健の向上を図ることを目的に「子どもの発育状況に関する全国調査」を実施することになりました。

つきましては、全国の保育所に調査へのご協力をお願いいたしたく、別添、当該研究班からの調査依頼を、貴管内保育所へ周知及び送付いただきますよう、ご協力をお願い申し上げます。

[問い合わせ先]

厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課

TEL 03-5253-1111（内）7919

丸 山

平成24年8月27日

保育所長 殿

厚生労働科学研究費補助金(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)  
東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究  
研究代表者 東北大学医学部小児科教授 呉 繁夫

## 子どもの発育状況に関する全国調査へのご協力をお願い

残暑の候、皆様方におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日本全国に大きな悲しみと被害をもたらした東日本大震災後1年以上が経過し、運動不足やストレスなどの子どもの発育への影響が指摘されています。

そのため、当研究班では、下記の通り、全国のご協力頂ける保育所の子どもたちの震災前後の身体測定等の情報を収集し、被災地及び全国の子どもたちの発育の変化の有無を調べることになりました。全国の子どもたちの発育状況を把握することで、今後の対応の提言など小児保健の向上に寄与することができると考えております。調査に協力されない場合でも不利益になるようなことはございませんが、調査の趣旨をご理解頂き、今後の小児保健の向上のため、是非積極的にご協力いただきますようお願いいたします。調査結果については、皆様にご活用いただけるよう、公表、報告等させていただきます。

調査への協力の可否等について、9月15日(土)までに回答をお願いいたします。

### 記

(調査対象・調査内容)

保育所の被災の状況ならびに平成17年度及び平成19年度生まれの子どもの身体測定結果等の情報(※個人を特定するような情報は集めません。)

- ◆ 調査票 A (保育所の状況) : 保育所の被災の有無等、各保育所で1枚
- ◆ 調査票 B1 (平成17年度生まれの子ども) : 身長・体重など、子ども1人につき1枚
- ◆ 調査票 B2 (平成19年度生まれの子ども) : 身長・体重など、子ども1人につき1枚

※平成17年度生まれは、平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれ(平成22年度5歳児クラス)

平成19年度生まれは、平成18年4月2日～平成19年4月1日生まれ(平成24年度5歳児クラス)

※今回添付する調査票、園内周知用ポスターは見本ですので、若干の変更があり得ます。

(調査の流れ) ※調査は今年度で終了です。

- ① 保育所が、調査協力の可否等を研究班に回答(9月15日までに別添FAXを送ってください。)
- ② ①で協力可と回答頂いた保育所に、研究班が人数分の調査票等を送付(10月下旬)  
※保護者への調査周知用のポスターを送付致します。
- ③ 保育所で調査票への記入の上、研究班へ送付(12月上旬頃)

この研究は、東北大学大学院医学系研究科倫理委員会の承認済みです。

連絡先 東北大学医学部小児科

〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町1-1

Tel 022-717-7289 Fax 022-717-7285

HP <http://www.ped.med.tohoku.ac.jp/311childhealth/>

平成24年8月27日

保育所長 殿

厚生労働科学研究費補助金(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)  
東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究  
研究代表者 東北大学医学部小児科教授 呉 繁夫

## 子どもの発育状況に関する全国調査へのご協力をお願い

残暑の候、皆様方におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日本全国に大きな悲しみと被害をもたらした東日本大震災後1年以上が経過し、運動不足やストレスなどの子どもの発育への影響が指摘されています。

そのため、当研究班では、下記の通り、全国のご協力頂ける保育所の子どもたちの震災前後の身体測定等の情報を収集し、被災地及び全国の子どもたちの発育の変化の有無を調べることになりました。全国の子どもたちの発育状況を把握することで、今後の対応の提言など小児保健の向上に寄与することができると考えております。調査に協力されない場合でも不利益になるようなことはございませんが、調査の趣旨をご理解頂き、今後の小児保健の向上のため、是非積極的にご協力いただきますようお願いいたします。調査結果については、皆様にご活用いただけるよう、公表、報告等させていただきます。

調査への協力の可否等について、9月15日(土)までに回答をお願いいたします。

### 記

(調査対象・調査内容)

保育所の被災の状況ならびに平成17年度及び平成19年度生まれの子どもの身体測定結果等の情報(※個人を特定するような情報は集めません。)

- ◆ 調査票 A (保育所の状況): 保育所の被災の有無等、各保育所で1枚
- ◆ 調査票 B1 (平成17年度生まれの子ども): 身長・体重など、子ども1人につき1枚
- ◆ 調査票 B2 (平成19年度生まれの子ども): 身長・体重など、子ども1人につき1枚

※平成17年度生まれは、平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれ(平成22年度5歳児クラス)

平成19年度生まれは、平成18年4月2日～平成19年4月1日生まれ(平成24年度5歳児クラス)

※今回添付する調査票、園内周知用ポスターは見本ですので、若干の変更があり得ます。

(調査の流れ) ※調査は今年度で終了です。

- ① 保育所が、調査協力の可否等を研究班に回答(9月15日までに別添FAXを送ってください。)
- ② ①で協力可と回答頂いた保育所に、研究班が人数分の調査票等を送付(10月下旬頃)  
※保護者への調査周知用のポスターを送付致します。
- ③ 保育所で調査票への記入の上、研究班へ送付(12月上旬頃)

この研究は、東北大学大学院医学系研究科倫理委員会の承認済みです。

連絡先 東北大学医学部小児科

〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町1-1

Tel 022-717-7289 Fax 022-717-7285

HP <http://www.ped.med.tohoku.ac.jp/311childhealth/>